



得一堂撰

新編和漢算法

浪華書林菅生堂梓



和漢算法序

理無方所數豈有

和漢雖然數之

窮則術亦無窮且

サ垣アル云
藩アル云
上云
園
上云
牆
上云
園

象習園人工巧或
異是所以數一而
術有_二和漢也近_一世
數學之士皆資始_二

於漢而雜之_二和術
往來乘除目趨_二於
捷徑而人之思術_二
工巧未_レ盡者唯據_二

山漢筆法亭

已^テ知^ル之^ノ法^ニ在^ニ推^ス末^タ
喻^サ之^ノ數^ヲ而^ノ已^ニ友^ニ生^ニ
宮城清行端著^ス明^ニ
元^ノ算^ハ法^ヲ其^ノ至^ニ精^ニ至^ニ

室^ハ古^ノ定^ニ

微^シ殆^ト極^ム庶^ニ蘊^ヲ焉^ニ今^ニ
又^ニ撰^テ和^ニ漢^ノ算^ハ法^ヲ者^ニ
千^ノ卷^ヲ以^テ便^{リス}後^ニ學^ニ者^ニ
校^ス考^ス訂^ス可^レ謂^ニ勤^{タリト}矣^ニ

初學之士目此編
于和于漢縱橫都
盡微之明元無疑
於至精至微之地

則知上下俯仰為
吾心之象數而視
聽所觸苟可計盡
者不待屈指而爾

元禄甲戌五月甲

子 村田通信序



和漢算法序

人之智慮有_レ所_レ及有_レ所_レ不及君子以_レ其_レ所_レ及致_レ其_レ所_レ不及小人務_レ其_レ所_レ不及遺_レ其_レ所_レ及其_レ所_レ及者不待學而知父子君臣夫婦兄弟朋友之道飢食渴飲夏葛冬裘是已其_レ所_レ不及者能學而後知詩書六藝之文禮樂刑政之法是已然而其待學而後知者亦資其不待學而知者非有二致也故其文也其法也固皆所_レ以_レ載_レ日用常行之道而非高遠奇怪難知難行之事也若夫九數之法亦然故古昔聖人之制_レ其_レ法也

田疇然後為之方田交易然後為之粟布廩稅然後
為之衰分為之少廣呂御其方圓為之商功度其
工程均輸以均其道里遠近之勞費盈朒以知其隱
樛難見之多少方經以推日月星辰之行度交會勾
股以測山川城邑之高深廣遠舉皆取以盡夫裁成
輔相之道而便於生民之術也小人則反飾其私智
用之以為災異占候之邪說借之以為圖讖符錄之
虛誕或執牙籌以濟貪吝之資或盡錙銖以行誅求
之暴非徒無裨於日用之間其所以惑世塞道誤天

下者不可勝言也夫一數術而淑慝善惡之分若此
者無他顧其所用何如耳友官城清行深好算法
從事於斯蓋亦有年矣凡和漢算數之書莫不涉獵
蒐索覃思研精探赜鈎玄隨得而纂錄且附以躬身
試于今世者久之成編名曰和漢算法總若干卷將
壽于梓屬為之序且其言曰天地之間有自然之
數君子目自然之數而施當然之用初無計較之小
有計較焉則亦私智也已不足尚焉然萬物之不齊
也雖有天下聰明之人不能偏見而盡識焉不由其

術何以能施其用此九數之所由起也言也
雖未知顛倒一把算子然嘉其言之暗合言于儒者之
道數家者流不可不審於其平書
元祿甲戌夏五月穀旦

洛東大町質正淳



和漢算法自叙

予平生數學ヲ嗜テ思慮ヲ費事累
年ナリ和漢ノ算書ヲ採テ校訂ス
ルニ大槩其法術アリテ其從來ス
ル所ノ理ヲ辨明セズ是以算學者
流只其術ヲ得テ未得其理誰能一
本萬殊ノ理ニ至ンヤ故ニ此術ニ

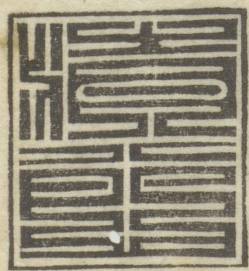
テ得タル理彼術ヲ學ニ通スルコ
ト難シ予是以和漢算法書ヲ著ス
世人ニ傳ヘキ書ニマス只門人
初學ノ楷^{カイ}梯^{テイ}トス算數ヲ學者其術
其法ニヨリテ其理其妙ニ通達セ
ハ凡天下ノ物其計^ケ較^{カウ}ヲ逃ル、コ
トナカウニ是古人数學ノ妙ト人

、良知ノ著^アル、處ナリ予^{ヒヤウ}眇^{ミョウ}少ノ
知力ノ所^ニ致^スアラスト云尔

省

元禄八年歲次乙亥春正月上浣之吉

宮城清行撰



和漢算注總目錄

卷之一

河圖數原

度解

大數
量解

八算

小數

衡解

魁一

九九
用平方

常派用平方

相乘用平方

用立方

常派用立方

相乘用立方

相乘用立方

卷之二

算籌能換解

算籌正負解

粟米

差分

方田

商功

均輸

盈朒

方極

鈎股附適定起圖

卷之三

商除算本にて見二
ハミんのうら

三素方月形

求兩定式門同

分子乘同門同

平方算本にての用極

立方月形

天之術和解圖式附註ニ至之式

鈎股配積門同

求角斜積門同

卷之四

根源記一百五十門

古今算法記之
別術算籌圖式

平方解空門問九

縱橫解空門問六

平圓解空門問十

平圓解切門問四

飯櫃形積門問四

扇形圓切門問三

平梯形判門問三

平圓闕判門問十

立玉開空門問三

玉圓闕判門問三

三角開空門問二

立方帶縱門問二

縱橫矩切門問二

縱橫和斷門問二

鈎股積分門問八

平菱開切門問六

雙弦股積門問三

片狹乘積門問五

方形角截門問十二

圓方輪違門問四

器形盆重門問九

擇形雜舉門問九

方錐立積門問三

方圓臺積門問四

厚幅臺積門問二

分子乘負門問二

一百五十好之定法

三角法方面一尺

中鈎積八寸六分六厘

四角法方面一尺

中斜弦一尺四寸一分四厘二

平圓法依徑一尺

周平積七十八步五五

玉圓法依貫一尺

周同平圓周二寸立積五百十九坪

知孤法

五八分七二

卷之七八九

古今算法記一十五門答術起源演段

- 平圓解空門問一
- 平立重積門門四
- 鉤股積分門問六
- 平形斜積門問三
- 分子齊同問門一

用字凡例

高と六割あつてと云
 注と六割あるに合ふ数と云
 除と二割の注と合ふと云
 割と二割の注と合ふと云
 自因と同数二割の注と合ふと云
 再自因再自割と云
 三自割と云
 実と六割の注と合ふと云
 周と二割の注と合ふと云
 お因お割と云
 自割と同数二割の注と合ふと云
 三自因三自割と云
 お割お割と云

和と云も割と云も
 減と六割の注と合ふと云
 倍と六割の注と合ふと云
 零と六割の注と合ふと云
 还原と六割の注と合ふと云
 加と六割の注と合ふと云
 倍と六割の注と合ふと云
 幕と六割の注と合ふと云
 不変と六割の注と合ふと云

演段定例

○單伏衆伏共ニ相消ノ見難キ時本術ニ出ル所ノ者ヲ
 アリトシテ別ニ天元一ヲ立テ正負段數ヲ畫シ傍ニ
 其名ヲ書テ相消シテ其乘式ヲ以テ寄尤數ト相消數
 トヲ求テ本術ヲ起ス

○兩定式及算定式等ノ級欠式ハ其乘式ニ方級ノ欠
 タル式ハ定式ノ方ニ因ノ名アルモノヲ省キ亦廉級ノ欠

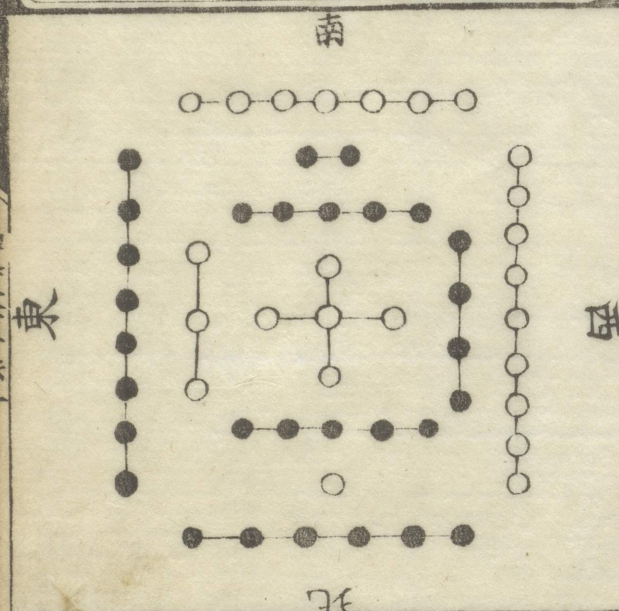
名時壬廉ノ名アル者正員共三省ノ定算式者明元
 算法ニ記之故ニ畧之ヲ

和漢算注總目錄終

和漢算注卷之一 洛陽宮城外龍首原清江集成
 龜手五數術
 天下地十合土之是地十步
 百十得八半之知八十一リ

作野守之求利有
 湯淺又之求和黨
 升鹿在之求清次
 校

河圖



數原

一	水	二	火
二	木	三	金
三	土	四	水
四	火	五	木
五	金	六	土
六	水	七	火
七	木	八	金
八	土	九	水
九	火	十	木
十	金		土

一絲十 一毫十 一釐十 一分十 一寸十 一尺十 一丈十
此等ハ大數
のちよりち
ゆゑなり

○呉服尺 近乃曲尺と云服と云一尺と云て尺と云は是周尺の例は準と

曲尺は一尺八寸なり △裁量衣服用此尺故有此名也

○絲尺 近の曲尺を四尺と云一尺加へ尺と云と高尺の例は準と曲尺

一尺二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

○曲尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

○尺 近代尺より尺より高尺の例は準と尺と云と

一丈二寸五分なり △以鯨魚鬚而制之故有此名也

△量解

量ハ圭より起ル
圭ハ六粒の要なり

○和漢尺より今用尺を記して之を留置る

一歩 或六尺五寸方 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

一丈 或十丈 一畝 或三十畝 一反 或十畝 一里 或五十里

或百六十月
或百又拾月

九因也

因者生也。謂九九相生之義也。乘者陞也。謂九九陞積之義也。單位曰因。多位曰乘。通而言之曰乘也。

九歸也

歸者會也謂會萬分
之數而歸於一也

二乃よりゝゑ	二	二進	二	二乃よりゝゑ
三	三	三進	三	三乃よりゝゑ
四	四	四進	四	四乃よりゝゑ
五乃よりゝゑ	五	五進	五	五乃よりゝゑ
六	六	六進	六	六乃よりゝゑ
七	七	七進	七	七乃よりゝゑ
八	八	八進	八	八乃よりゝゑ
九	九	九進	九	九乃よりゝゑ
十	十	十進	十	十乃よりゝゑ
十一	十一	十一進	十一	十一乃よりゝゑ
十二	十二	十二進	十二	十二乃よりゝゑ
十三	十三	十三進	十三	十三乃よりゝゑ
十四	十四	十四進	十四	十四乃よりゝゑ
十五	十五	十五進	十五	十五乃よりゝゑ
十六	十六	十六進	十六	十六乃よりゝゑ
十七	十七	十七進	十七	十七乃よりゝゑ
十八	十八	十八進	十八	十八乃よりゝゑ
十九	十九	十九進	十九	十九乃よりゝゑ
二十	二十	二十進	二十	二十乃よりゝゑ

三之辰

人	斗	石	千	百	万	十
◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆

九進三十
九進三十
六進二十
六進二十
三進二十
三進二十
三進二十
三進二十
三進二十

人	斗	石	千	百	万	十
◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆

三三九
三六十八
二三六
二三六
三十五
一三三
一三三
一三三
一三三

米拾八万三千四百又棒ある七斗八升九合と
三二六十二

しりさん

かけさん

辰之四

人	斗	石	千	百	万	十
◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆

四進二十
八進二十
八進二十
四進二十
四進二十
四進二十
四進二十
四進二十
四進二十

人	斗	石	千	百	万	十
◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆◆

四六九
四六九
四六九
四六九
四六九
四六九
四六九
四六九
四六九

米拾二万二千四百又拾六貫七百八十九合と
三万令八百六拾四貫百九十七合と

しりさん

かけさん

順之八

ろりさん

大	斗	石	千	百	千	万	十
◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

又進一十〇五四倍作八
又進一十〇五三倍作六
又進一十〇五二倍作四
又進一十〇五一倍作二
又進一十とさへいといと一あざと
又四倍作八とさへいといと一あざと
又三倍作六とさへいといと一あざと
又二倍作四とさへいといと一あざと
又一倍作二とさへいといと一あざと

ろりさん

大	斗	石	千	百	千	万	十
◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

又八四十とさへいといと一あざと
又七十九とさへいといと一あざと
又六十八とさへいといと一あざと
又五十七とさへいといと一あざと
又四十六とさへいといと一あざと
又三十五とさへいといと一あざと
又二十四とさへいといと一あざと
又十三とさへいといと一あざと
又二とさへいといと一あざと

あひの 米俵二万三千四百六十石八斗九合
式方單六百九十石五斗八升七合八勺

順之六

ろりさん

大	斗	石	千	百	千	万	十
◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

又進一十〇六二天作八
又進一十〇六進一十
又進一十〇六一加下四
又進一十
又進一十〇六二天作八
又四六十四とさへいといと一あざと
又三六十八とさへいといと一あざと
又二六十二とさへいといと一あざと
又一六十六とさへいといと一あざと

ろりさん

大	斗	石	千	百	千	万	十
◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

又六十九とさへいといと一あざと
又五十八とさへいといと一あざと
又四十七とさへいといと一あざと
又三十六とさへいといと一あざと
又二五とさへいといと一あざと
又一十四とさへいといと一あざと
又三とさへいといと一あざと
又二とさへいといと一あざと

六進二 三三三三三
銀十二万三千四百六十石八斗九合
二万五千七百七拾六石五斗八升七合八勺

九之匠

人	珠	斗	石	千	百	十	万	丁
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

九進二十
九進二十
九進一十〇九一加下
九進一十〇九三加下三
九六加下六
九進一十
九六加下六
九三加下三
九一加下一

人	珠	斗	石	十	百	千	万
●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●

一九九
二九十八
四九六
七九六
一九九
七九六
二九七
一九九

あつむ
米十二万三千四百六十八石八升九合
七万三千七百七十四石二升五合八勺

見一のり

銀百両と

六文はふりて

見一圖

分	文	十	百
●	●	●	●

分	文	十	百
●	●	●	●

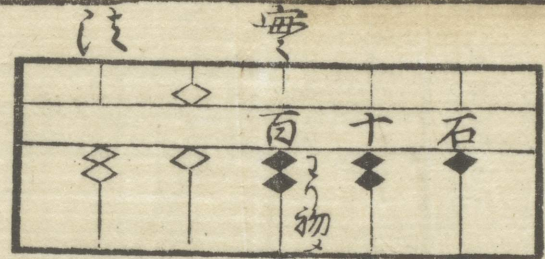
一進二十
二進二十
三進二十
四進二十
五進二十
六進二十
七進二十
八進二十
九進二十
十進二十
十一進二十
十二進二十
十三進二十
十四進二十
十五進二十
十六進二十
十七進二十
十八進二十
十九進二十
二十進二十

あひい
算式百二十きとる

二十きとるれ

ハ石み中けなり

見二圖



●みち三十リ とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より三十リとてふく

●六八平八リ とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より四十リとてふく

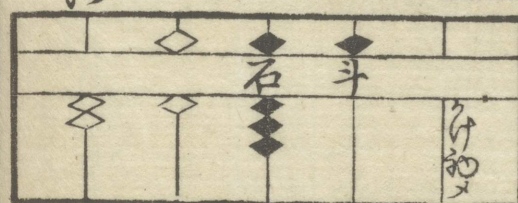
●見二五以九二とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より九二とてふく

●みち廿 とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より二十リとてふく

●二又十 とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より二又十とてふく

●二又十六 とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より二又十六とてふく

かけん

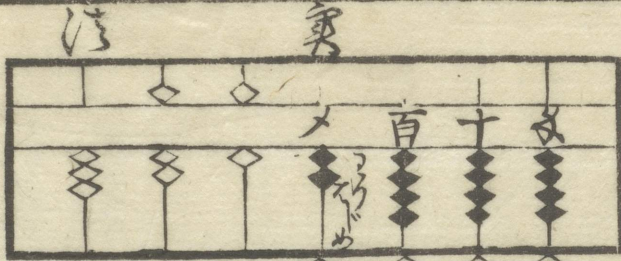


あひい
算式百四十拾四とる

二百七十六とるれ

おぬみふげ

見三圖



●みち三十リ とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より三十リとてふく

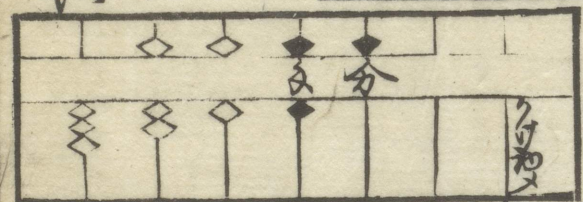
●六六三十六リ とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より六六三十六とてふく

●六七四十六リ とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より六七四十六とてふく

●三三六十二 とてふくとの物のえとはのちとる合
は初より三三六十二とてふく

●ちのえとはのちとる合
は初よりちのえとはのちとる合
●ちのえとはのちとる合
は初よりちのえとはのちとる合
●ちのえとはのちとる合
は初よりちのえとはのちとる合
●ちのえとはのちとる合
は初よりちのえとはのちとる合

かけん



見四圖

[illegible]

かへん

あつひハ
米四千四百れい合をるを
四千よりわきバ
九斗七升八合しち之

- [illegible]

見又圖

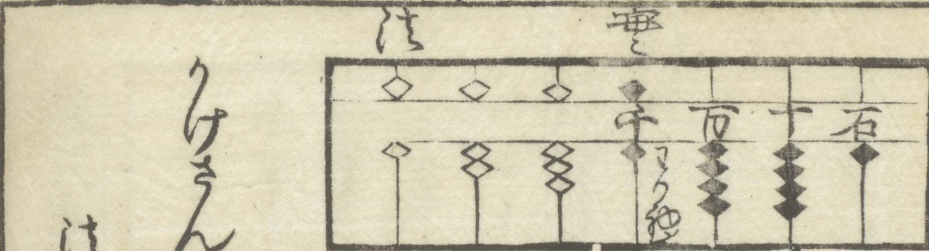
加々季人

り
り

銀三貫八百七拾圓と
又百十圓のれべ
七圓み下げ也

- [illegible]

見六圖

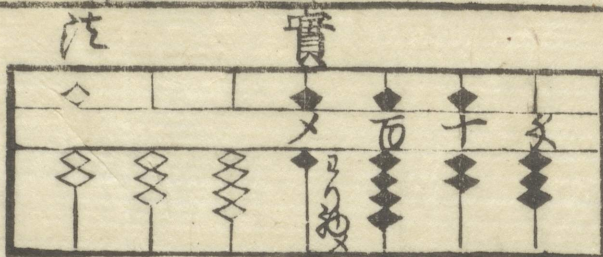


けん

- 八十四十一 けんてきふのふとけのふとけ
- 八九七十一 けんてきふのふとけのふとけ
- 七九六十三 けんてきふのふとけのふとけ
- 七六八十四 けんてきふのふとけのふとけ

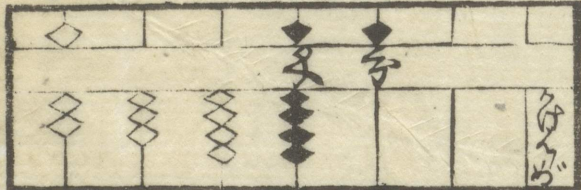
- 一のふとけのふとけのふとけ
- 一のふとけのふとけのふとけ
- 一のふとけのふとけのふとけ
- 一のふとけのふとけのふとけ

見七圖



けん

けん

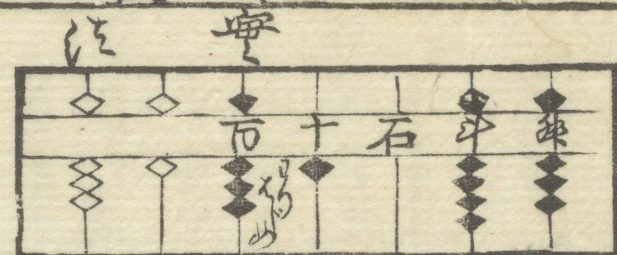


- 一のふとけのふとけのふとけ
- 一のふとけのふとけのふとけ
- 一のふとけのふとけのふとけ
- 一のふとけのふとけのふとけ

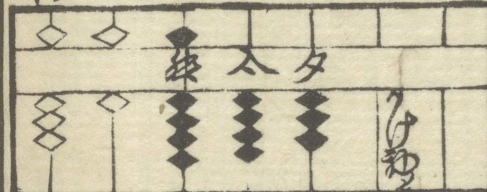
七五七拾二文
九文
九文

あつひ
米八百石令九中八練を
八中六百ふり
九中四百ふり也

見八圖



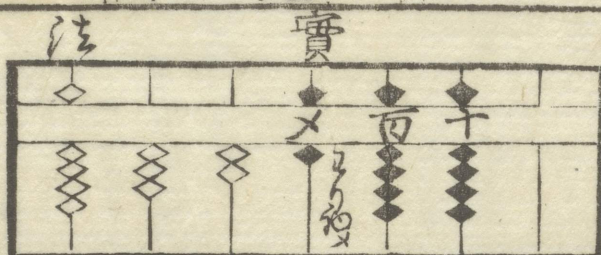
かげさん



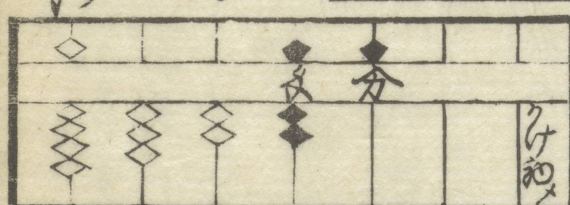
- 八進二十
●八進二十一
●六九八十四
●見八を以て九八

●上の棚に三と下の棚に八と合三十八とて
●上の棚に二と下の棚に七と合二七とて
●上の棚に一と下の棚に六と合一六とて
●上の棚に四と下の棚に五と合四五とて
●上の棚に三と下の棚に四と合三七とて
●上の棚に二と下の棚に三と合二五とて
●上の棚に一と下の棚に二と合一七とて
●上の棚に五と下の棚に一と合六一とて
●上の棚に四と下の棚に一と合五十一とて
●上の棚に三と下の棚に一と合四十一とて
●上の棚に二と下の棚に一と合三十一とて
●上の棚に一と下の棚に一と合二十一とて

見九圖



かげさん



- 九進二十
●九進二十一
●九進二十二
●九進二十三
●九進二十四
●九進二十五
●九進二十六
●九進二十七
●九進二十八
●九進二十九
●九進三十

●上の棚に三と下の棚に八と合三十八とて
●上の棚に二と下の棚に七と合二七とて
●上の棚に一と下の棚に六と合一六とて
●上の棚に四と下の棚に五と合四五とて
●上の棚に三と下の棚に四と合三七とて
●上の棚に二と下の棚に三と合二五とて
●上の棚に一と下の棚に二と合一七とて
●上の棚に五と下の棚に一と合六一とて
●上の棚に四と下の棚に一と合五十一とて
●上の棚に三と下の棚に一と合四十一とて
●上の棚に二と下の棚に一と合三十一とて
●上の棚に一と下の棚に一と合二十一とて

あつひ
銀六貫九百九拾月を
九百三十ふり
七ふり也

用平法

積百四十萬あり是を四方めてい方面何なり必だて同

○答曰十二万

形は白也積を算して平方を用い高は十二万四方と知

は一の倍より二十といひて二けたうて二と云ふ
これに十より百なりと云ふなり先位をかく

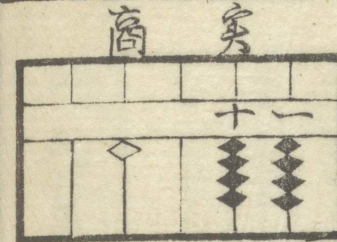
算めて十と云ふなり十の四方とて一の百なりと云ふなり

相違十なりと商を算するなり

二の圖はあつて

算して算數四十萬なり

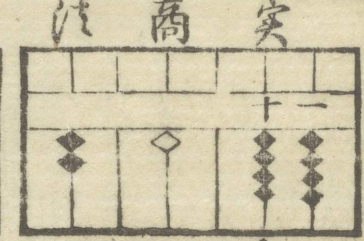
圖之二



は十なりと云ふなり是なりは十なりと二倍して二十なりと云ふなり

三の圖はあつて

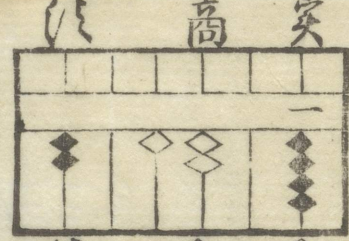
圖之三



は平をたのび二十なりと云ふなり商十なりと云ふなり又二万五

四の圖はあつて

圖之四



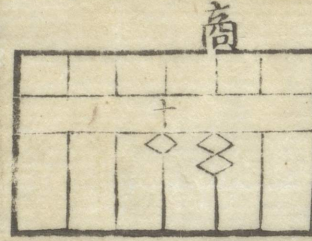
は二万と云ふなり二の四なりと云ふなり又二万五

は二万と云ふなり二の四なりと云ふなり又二万五

五の圖はあつて

は二万と云ふなり

圖之五



は二万と云ふなり

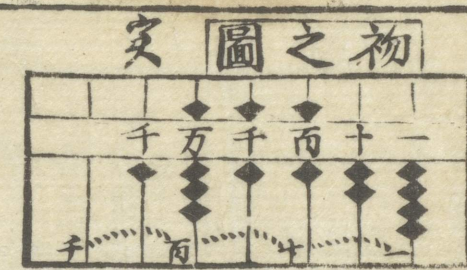
解法

二万	十	二万	十
十	大方	十	大方
二万	十	二万	十

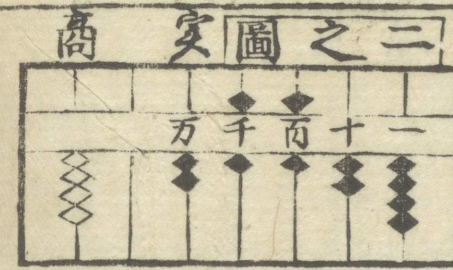
積十八万六千六百四十兩あり是と四万にりて八方面はるる

ぬどと問

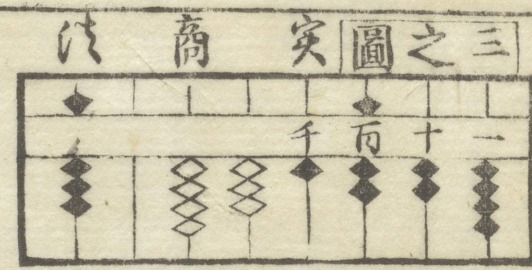
○答曰四百三十三



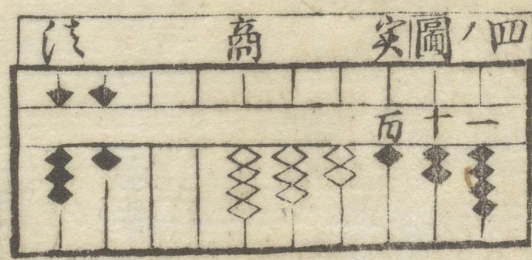
初同積十八万六千六百四十兩あり是と四万にりて八方面はるる
つてとく一十百千と位とるる時千の位は百の位に
小先六百兩ありとくハ二千六百兩ありとく四百兩あり
とくハ十六万ありとくハ上は四百兩ありとくハ
二万六千六百四十兩あり二の圖はなる



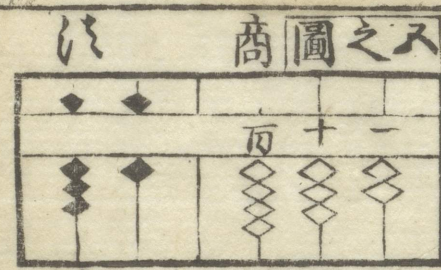
△極商の四百と一倍して八百とぬとては
実と一倍ぬれば商四百ありはるる今又三千ありと
は三千と九百とハ三ノ九百ありとハ九百あり
七百二十ありと商四百三十三とハ三の圖はなる



極商四百三十三とぬ
は三千と二倍して
たのはは八
六とるる
商四百三十三とぬ
又二万ありの圖はなる

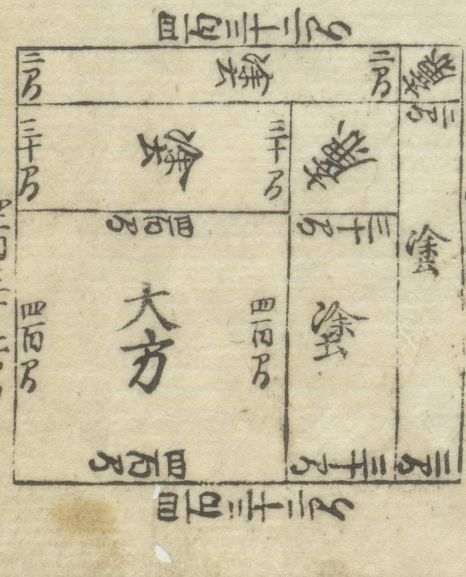


極商四百三十三とぬ
は二とはの六とる
は合は二十ありと
又商の二と九な
は二ありとハ
らふは圖の



加ののく商は
四百三十三と
なる
はは後不用

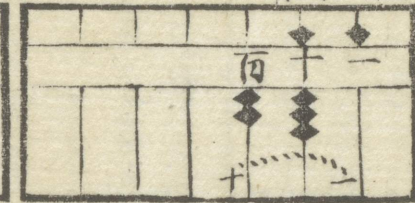
解法圖



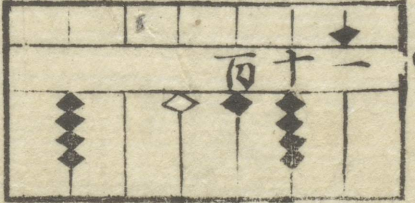
第弐用平法

積二百八十あるはりきと縦より横を四倍してたてよ
 何るづゝは然とて同
 ○答曰縦十九り 横十二り

初ノ圖

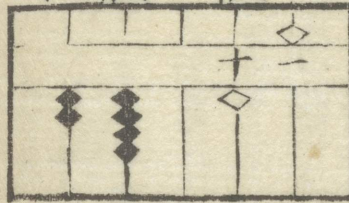


例は同様とて先
 位より十の位に十を
 こみて二百あると
 するに又九の倍の
 とははる商するに
 四十八あるとけ合
 有る記



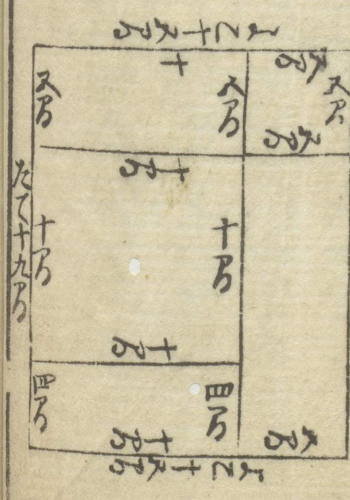
縦商するに倍して
 十の位に十をこ
 みてはる商する
 十の位に十をこ
 ゐと九の倍の
 十の位に十をこ
 ゐと九の倍の
 十の位に十をこ
 ゐと九の倍の

商ノ圖



此商積するに
 四十八あると
 何るのらに

解法

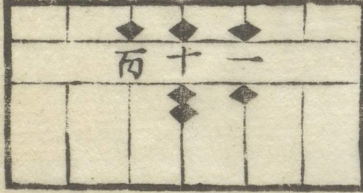


△縦より知例は同様とて先
 位より十の位に十を
 こみて二百あると
 するに又九の倍の
 とははる商するに
 四十八あるとけ合
 有る記

お急用平法

積八百八十八あるはりきと縦七尺四寸横四尺八寸
 何るづゝは然とて同
 ○答曰 縦三尺七寸 横二尺四寸

実



例は同様とて先
 位より十の位に十を
 こみて二百あると
 するに又九の倍の
 とははる商するに
 四十八あるとけ合
 有る記

用立法

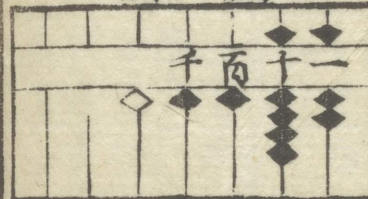
積二千百九十七坪あり是を四方面にわく方面は幾と問

○答曰方面十三万

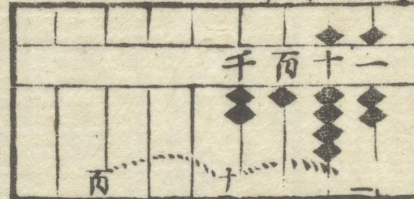
形小田積二百九十七坪と定むと先一十百を割て二と
位とる時百の位は九に九の位とて別に十とた
ふにきけ合ふ百と九に九の位とたふとたふと定む
いふに高十と立お積千九百九十七坪有るの圖に記ス
○右の如く十と九に九の位とたふとたふと定むと
右の如く十と九に九の位とたふとたふと定むと
右の如く十と九に九の位とたふとたふと定むと

初商十とけ合ふ百と九に九の位とたふと定むと
と九とけ合ふと一十とたふと定むと
又三とたふと定むと二の圖に記ス

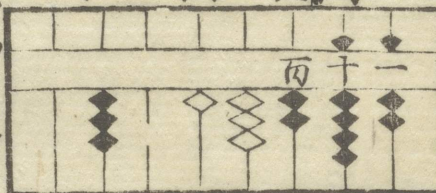
商実圖之二



實圖之初



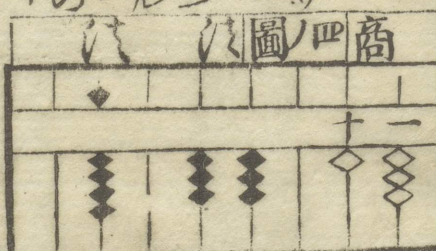
法商實圖ノ三



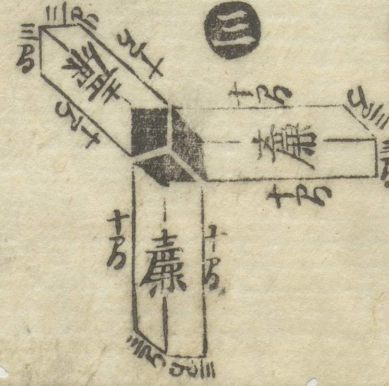
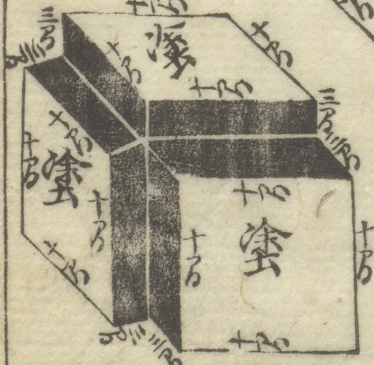
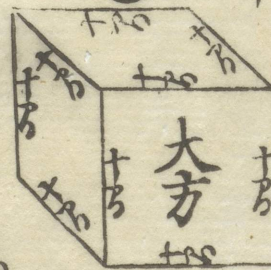
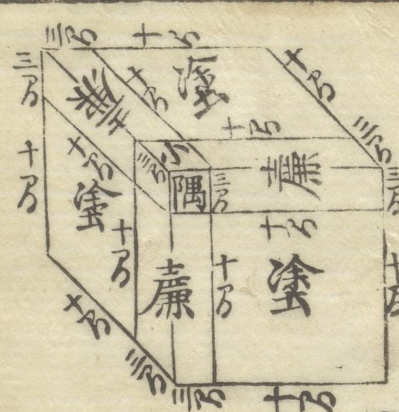
解法圖

此圖を記ス

商に又立ッ二とけ合ふ三九と
と九とけ合ふと一十とたふと定むと
三方とたふと定むと二の圖に記ス
と九とけ合ふと一十とたふと定むと
と九とけ合ふと一十とたふと定むと



此商に十
二万四万六
面とたふと
定むと



積と億四千七百十九万七千九百八拾二坪有是と四方六面は八

方面は積とと同

○答曰方面六百八十八

實圖之初



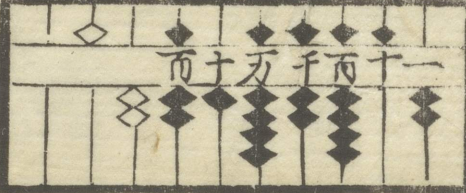
側曰積一億四千七百十九万七千九百八拾二坪と算して
先一十百千之位をより万の位か一百の位か五
るとして別入百の位と九の位に垂つけ合ふ
るサ入百の位と九の位を億二千二百九万七千九百八
上に商入百の位と九の位に合ふ
二坪有二の圖に記ス

商實圖之二



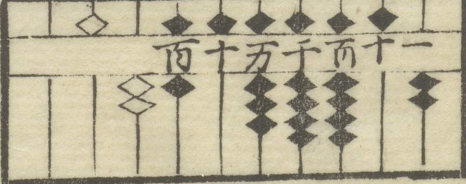
枳商入百の位と九の位に合ふ
ハ七十八万と九の位と合ふ
百の位の次に今又二十の位と合ふ
式詳有三角圖に記ス

商實圖之三



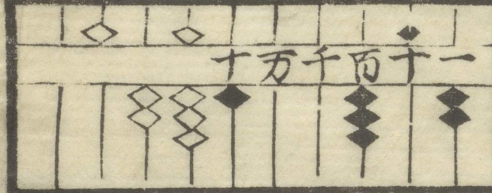
商に又五の位と合ふ
二百の位と合ふ
百の位の次に今又二十の位と合ふ
式詳有三角圖に記ス

商實圖之四

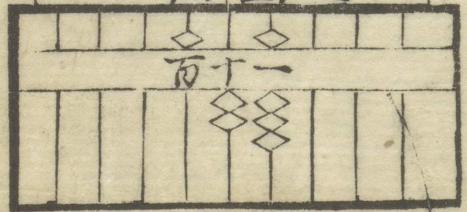


枳又商入百の位と九の位に合ふ
合二百七十八万と九の位と合ふ
方と合ふ
はうて積と二の位と合ふ
今又八の位と合ふ
今又二の位と合ふ

商實圖之五



商に又五の位と合ふ
と合ふ
と合ふ
と合ふ
と合ふ
と合ふ
と合ふ
と合ふ
と合ふ
と合ふ

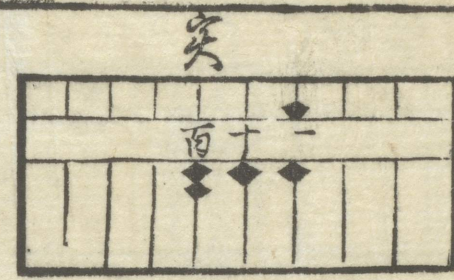


かくの位と商
に方商入百の
八の位と合ふ
△圖解の意を
後記する

和漢算注

相乗用立注

積千令八十坪あり是と云ふ方幅九方は坪敷百二十坪あり如斯くお尋ねにきく字幅置れたのくはるに成ると同



○答曰厚三万 幅十万 坪十人方
 例に曰厚三万と再うけ合二十七坪と云に千令八十坪を
 うれば二万九千六百六十坪と云と百千坪にきくは
 二百十六坪と云と云うて立方に用之南に厚ある
 と云なり

△幅より知れぬに曰幅あると再うけ合百千坪と云に千令八十坪を
 うれば千三百六十坪と云と百千坪にては千坪と云と云と
 て立方に用之南に幅十万と云と云也
 △厚より知れぬに曰厚九万と再うけ合七千九百坪と云に千令八十坪と
 うれば千八百七十三坪と云と百千坪にては千坪と云と云と
 十二坪と云と云うて立方に用之南に厚千分と云と云

和漢算注卷之終

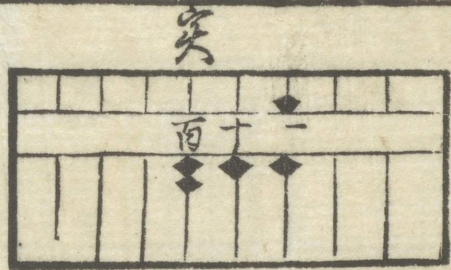
和漢算注

相乗用算注

積千令八十坪あり是と受三万幅九万坪敷百二十坪あり如斯乃お趣にう、字幅置れたの、ゆるげに成ると同

○答曰受三万 幅十万 坪十萬

例に曰受三万と再うけ合二十七坪と成に千令八十坪をうられ二万九千六百六十坪と成と百千坪にうられ二万十六坪と成と受うて立方に用之南に厚さありと知なり



△幅より知れに曰幅九万と再うけ合七百二十坪と成に千令八十坪をうられ二万九千六百六十坪と成と百千坪にうられ二万十六坪と成と受うて立方に用之南に厚さありと知なり

和漢算注卷之終

